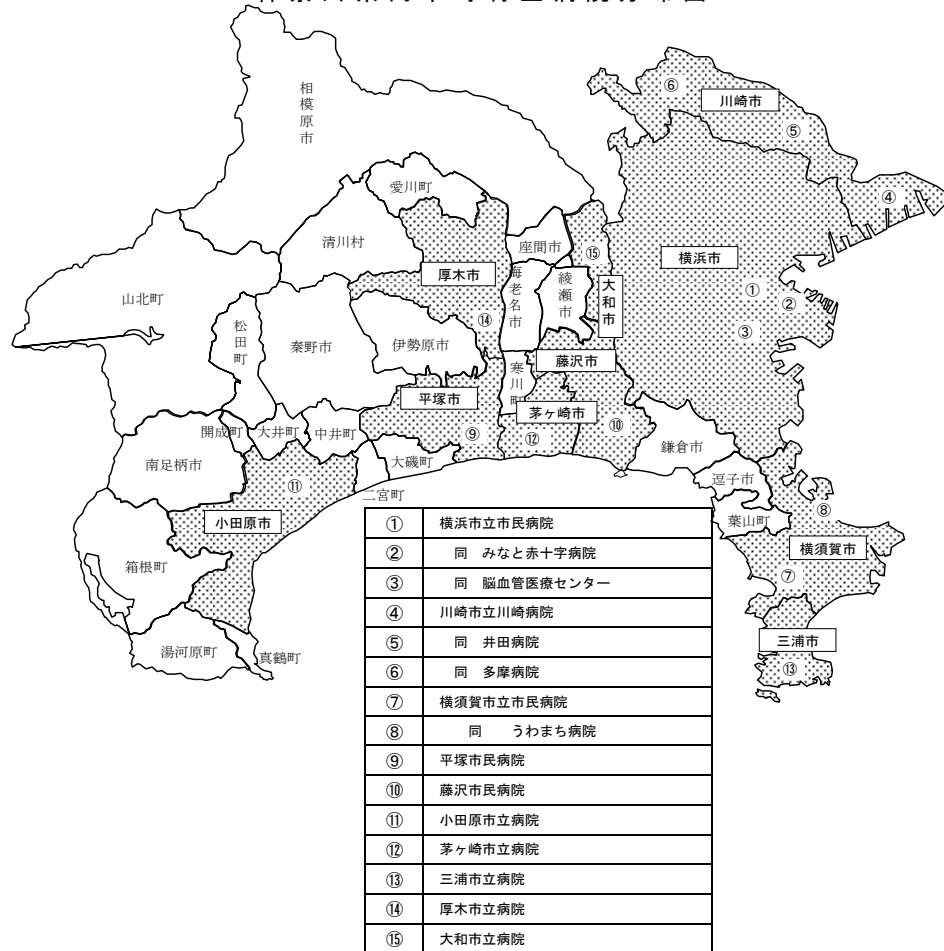


### 3 病院事業

#### (1) 事業概要

平成 20 年度における病院の事業数は 10 事業、病院数は 15 病院であり、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、三浦市、厚木市及び大和市の 10 市で設置している。

神奈川県内市町村立病院分布図



病床数は、6,790 床（うち一般病床 6,532 床）で、前年度（6,713 床）に比べ 77 床、1.1%の増加となっている。

病院当たりの病床数をみると、「101 床から 299 床」が 1 病院、大規模病院の基準である「300 床以上」が 14 病院で合計 6,654 床と、全体の 98.0%を占めている。

また、病床利用率（年延入院患者数／年延病床数×100）は 78.9%で、前年度（80.1%）に比べ▲1.2 ポイント下降した。

職員数は 6,051 人で、前年度（5,944 人）に比べ 107 人、1.8%の増加となっている。内訳は、医師 706 人（前年度 680 人）、看護師 3,700 人（同 3,667 人）、准看護師 55 人（同 65 人）、事務職員 410 人（同 387 人）、医療技術員 855 人（同 838 人）、その他の職員 325 人（同 307 人）となっている。

病床数・病床利用率・職員数の年度別推移

項目	年度	16	17	18	19	20	増減(20-19)	
							増減	率(%)
病床数(床)	一般	5,815	6,475	6,455	6,455	6,532	77	1.2
	その他	174	174	224	258	258	0	0.0
	計(A)	5,989	6,649	6,679	6,713	6,790	77	1.1
病床利用率	一般	82.8%	83.7%	81.9%	81.5%	80.1%	▲1.4	—
	その他	42.8%	37.4%	41.6%	44.3%	49.3%	5.0	—
	計	81.6%	82.4%	80.6%	80.1%	78.9%	▲1.2	—
職員数(人)(B)		6,198	5,931	5,920	5,944	6,051	107	1.8
病床100床当りの職員数(B)/(A)×100(人)		103.5	89.2	88.6	88.5	89.1	0.6	—

一般病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床。  
その他の病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床の計。

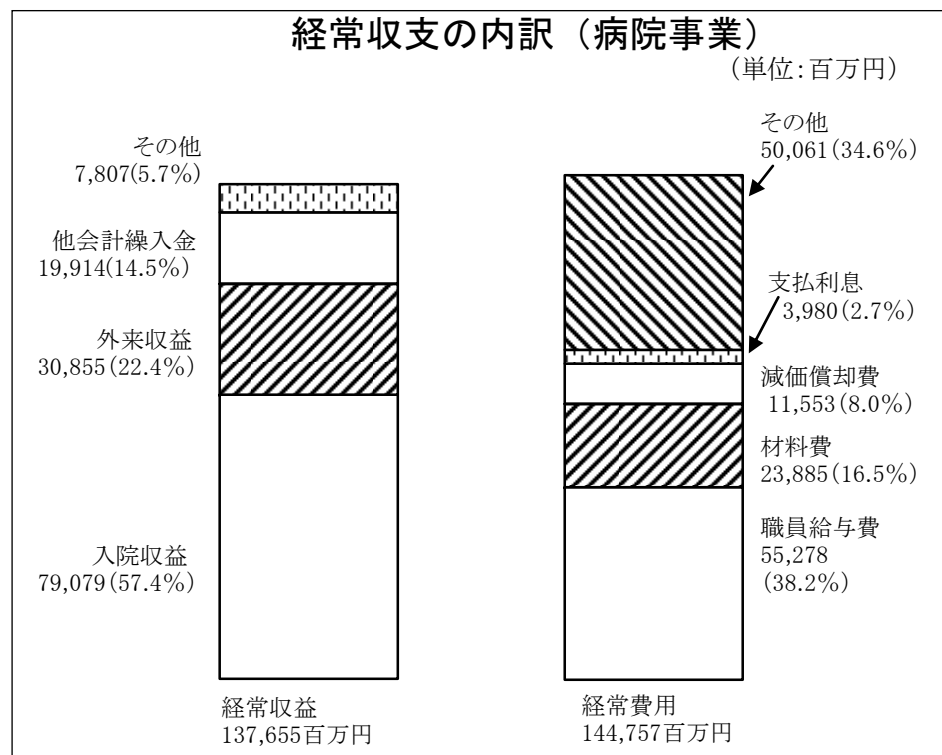
## (2) 経営状況

### ア 経常収支

経常収益は、1,376億55百万円で、前年度(1,423億4百万円)に比べ▲46億49百万円、▲3.3%減少し、経常費用は、1,447億57百万円で、前年度(1,501億25百万円)に比べ▲53億67百万円、▲3.6%減少している。

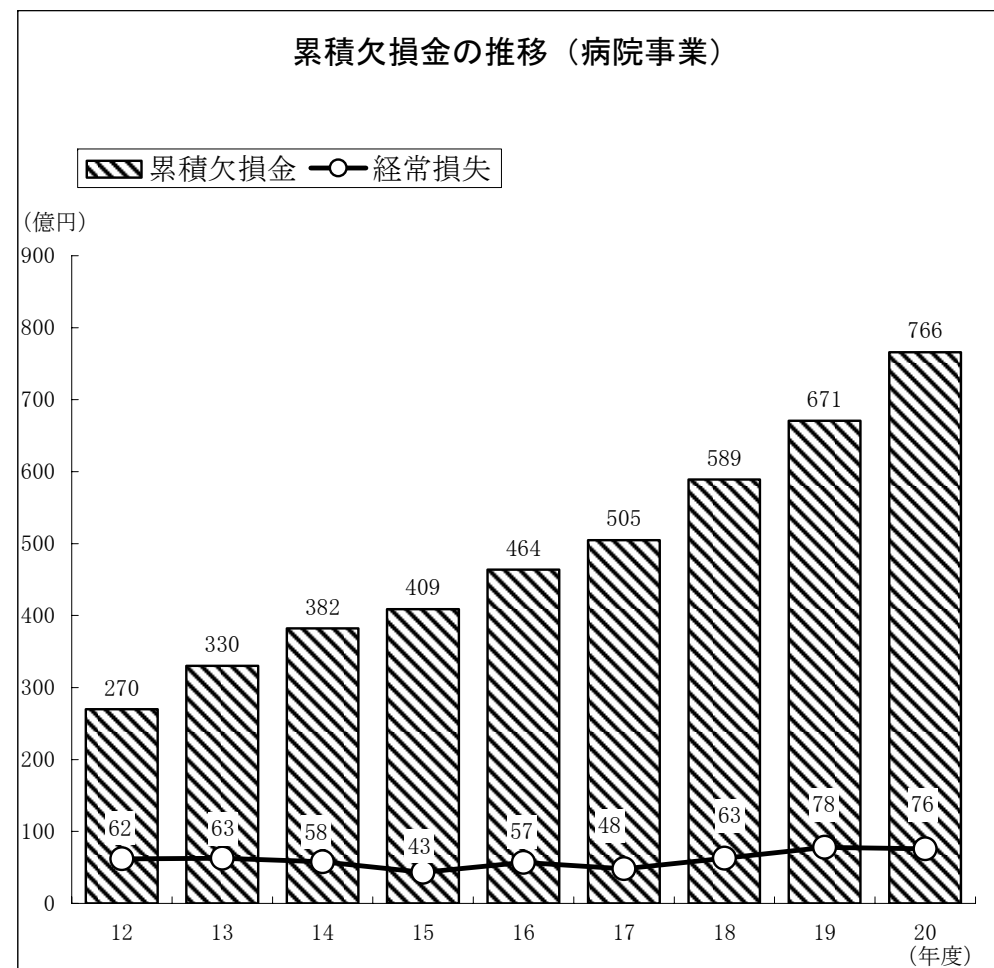
この結果、経常損益は▲71億3百万円の赤字で、前年度(▲78億21万円)に比べ、赤字額が▲7億18百万円減少している。

なお、平成20年度に経常利益を生じた事業は1事業で、前年度に比べ1事業増加しており、経常損失を生じた事業は9事業で前年度に比べて▲1事業減少している。



医業収支比率(医業収益/医業費用×100)は、87.2%で、前年度(87.8%)に比べ▲0.6ポイント下降し、経常収支比率(経常収益/経常費用×100)は95.1%で、前年度(94.8%)に比べ0.3ポイント上昇している。

累積欠損金を有する事業は、8事業で、前年度(9事業)と比べて▲1事業減少している。

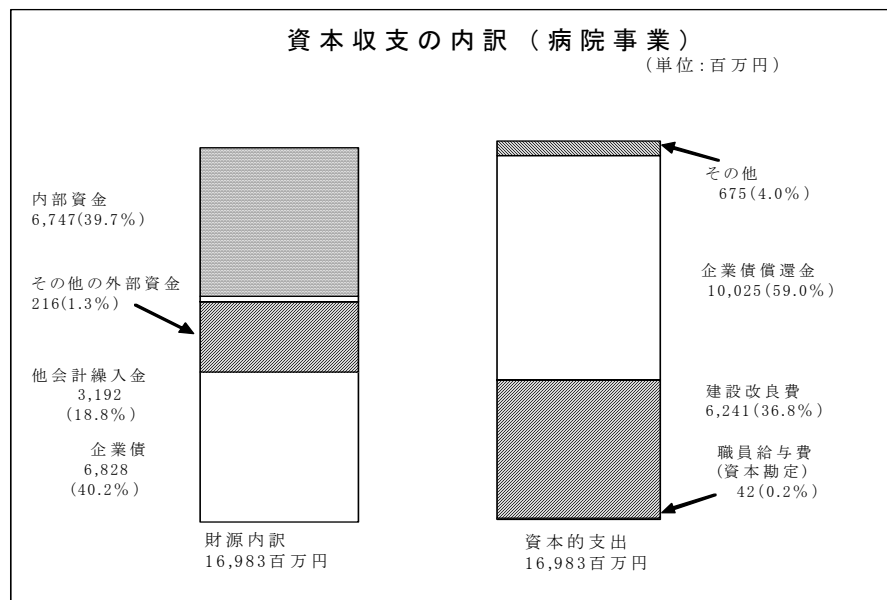


## イ 資本収支

資本的支出は、169億83百万円で、前年度（160億77百万円）に比べ9億6百万円、5.6%増加（補償金免除繰上償還を除くと15億55百万円、11.4%と大幅に増加）している。

このうち建設改良費（資本勘定職員給与費を含む）は62億83百万円で、前年度（63億99万円）に比べ▲1億16百万円、▲1.8%減少しており、企業債償還金は100億25百万円で、前年度（96億1百万円）に比べ4億24百万円、4.4%増加している。

これに対する財源は、外部資金が102億36百万円で、前年度（85億22百万円）に比べ17億14百万円、20.1%の大幅な増加（補償金免除繰上償還に係る借換債を除くと23億62百万円、39.1%の大幅な増加）となっている。外部資金のうち企業債が68億28百万円で、前年度（57億32百万円）に比べ10億96百万円、19.1%の大幅増となっており、他会計繰入金が31億92百万円で、前年度（23億56百万円）に比べ8億36百万円、35.5%と大幅に増加している。一方、損益勘定留保資金等の内部資金は67億47百万円で、前年度（75億55百万円）に比べ▲8億8百万円、▲10.7%と大幅に減少している。



## (3) 診療収入

診療収入は1,099億34百万円で、前年度（1,154億68百万円）に比べ▲55億34百万円、▲4.8%減少している。うち入院収益は790億79百万円で、前年度（825億52百万円）に比べ▲34億73百万円、▲4.2%減少、外来収益は308億55百万円で、前年度（329億16百万円）に比べ▲20億61百万円減少している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院が40,865円で、前年度（41,979円）に比べ▲1,114円、▲2.7%減少、外来が9,311円で、前年度（9,626円）に比べ▲315円、▲3.3%減少している。

また、患者については、年延数では入院患者が1,935,137人で、前年度（1,966,492人）に比べ▲31,355人、▲1.6%減少しており、外来患者は3,313,965人で、前年度（3,419,503人）に比べ▲105,538人、▲3.1%減少している。

## (4) 経費

職員給与費（収益勘定）は552億78百万円で、前年度（546億86百万円）に比べ5億92百万円、1.1%増加している。

また、診療収入に対する職員給与費の割合は、50.3%で前年度（47.4%）に比べ2.9ポイント上昇しており、医業費用に対する職員給与費の割合は40.1%で、前年度（38.3%）に比べ1.8ポイント上昇している。

薬品等の材料費は、238億85百万円で、前年度（250億26百万円）に比べ▲11億41百万円、▲4.6%減少している。このうち薬品費は112億48百万円で、前年度（126億74百万円）に比べ▲14億26百万円、▲11.3%と大幅に減少している。

また、薬品使用効率（薬品収入／薬品費×100）は98.9%で、前年度（116.7%）に比べ▲17.8ポイント下降している。

## 損益収支等の推移

(単位:百万円)

項目		年度					増減(20-19)			
		16	17	18	19	20	増減	率(%)		
総収益(A)		119,517	129,579	138,153	142,613	138,088	▲4,524	▲3.2		
経常収益	医業収益	診療収入	入院	64,870	72,352	79,077	82,552	79,079	▲3,473	▲4.2
			外来	30,581	31,516	32,911	32,916	30,855	▲2,061	▲6.3
			計	95,451	103,868	111,988	115,468	109,934	▲5,534	▲4.8
		(うち薬品収入)	14,917	15,479	14,744	14,788	11,123	▲3,665	▲24.8	
		その他	8,974	9,071	9,155	9,851	10,198	347	3.5	
	計(B)	104,425	112,939	121,143	125,318	120,132	▲5,187	▲4.1		
	医業外収益	他会計補助金	2,334	3,310	3,324	2,976	3,173	197	6.6	
		他会計負担金	10,569	11,043	11,086	10,916	10,875	▲40	▲0.4	
		その他	2,083	2,109	2,285	3,094	3,475	381	12.3	
		計(C)	14,986	16,462	16,694	16,985	17,523	538	3.2	
計(C)		119,411	129,401	137,837	142,304	137,655	▲4,649	▲3.3		
総費用(D)		126,390	134,085	147,098	151,215	147,925	▲3,291	▲2.2		
経常費用	医業費用	職員給与費	56,299	53,601	52,896	54,686	55,278	592	1.1	
		材料費	25,126	24,730	24,349	25,026	23,885	▲1,141	▲4.6	
		(うち薬品費)	13,301	12,883	12,849	12,674	11,248	▲1,426	▲11.3	
		その他	37,737	48,709	59,376	62,986	58,537	▲4,449	▲7.1	
	計(E)	119,162	127,040	136,621	142,698	137,700	▲4,998	▲3.5		
	医業外費用	5,438	6,549	7,136	7,427	7,057	▲370	▲5.0		
計(F)		124,600	133,588	143,757	150,125	144,757	▲5,367	▲3.6		
患者1人1日当たり診療収入(円)										
		入院	36,369	38,115	40,364	41,979	40,865	▲1,114	▲2.7	
		外来	8,791	9,000	9,211	9,626	9,311	▲315	▲3.3	
患者数(人)	入院	年延数(G)	1,783,664	1,898,283	1,959,080	1,966,492	1,935,137	▲31,355	▲1.6	
		1日平均	4,886	5,334	5,367	5,374	5,302	▲72	▲1.3	
	外来	年延数(H)	3,478,785	3,501,872	3,573,077	3,419,503	3,313,965	▲105,538	▲3.1	
		1日平均	13,834	14,114	14,084	13,625	13,424	▲201	▲1.5	
外来患者入院患者比率(H)/(G)		195.0%	184.5%	182.4%	173.9%	171.3%	▲2.6	-		
総収支比率(A)/(D)		94.6%	96.6%	93.9%	94.3%	93.4%	▲0.9	-		
経常収支比率(C)/(F)		95.8%	96.9%	95.9%	94.8%	95.1%	0.3	-		
医業収支比率(B)/(E)		87.6%	88.9%	88.7%	87.8%	87.2%	▲0.6	-		
職員給与費/診療収入		59.0%	51.6%	47.2%	47.4%	50.3%	2.9	-		
職員給与費/医業費用		47.2%	42.2%	38.7%	38.3%	40.1%	1.8	-		
薬品使用効率		112.1%	120.1%	114.7%	116.7%	98.9%	▲17.8	-		

## (5) 他会計繰入金の状況

他会計繰入金は、233億26百万円で、前年度(217億32百万円)に比べ▲15億94百万円、7.3%増加している。

内訳は、収益的収入への繰入金は201億34百万円で、前年度(193億76百万円)に比べ7億58百万円、3.9%増加しており、資本的収入への繰入金は31億92百万円で、前年度(23億56百万円)に比べ8億36百万円、35.5%と大幅に増加している。

また、基準外繰入金については、収益的収入への繰入金が21億4百万円(収益的収入への繰入金総額の10.4%)で、資本的収入への繰入金はないため、基準外繰入金の総額は同額の21億4百万円(繰入金総額の9.0%)となっている。

## 他会計繰入金の状況

(単位:百万円, %)

項目		年度		増減	
		20	19	額	率
収益	基準内	18,029	17,448	581	3.3
	基準外	2,104	1,928	177	9.2
	計	20,134	19,376	758	3.9
資本	基準内	3,192	2,356	836	35.5
	基準外	0	0	0	0.0
	計	3,192	2,356	836	35.5
合計	基準内	21,221	19,804	1,417	7.2
	基準外	2,104	1,928	177	9.2
	計	23,326	21,732	1,594	7.3